

わたしの 妊娠報告書

記載日 23 年 3 月 13 日

おめでた宣言日	23 年 1 月
年齢 (33) 歳	平成 (19) 年 (3) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (0) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (6) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

2年の間、何もやっても無理だと落ち込み、泣いた事もありました。そんな時は、数ヶ月、治療を休んだり、夫婦2人の間しかできないこととして楽しんだりするようになりました。帯解寺にも行きました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

1番っからたことは、体外受精前の採卵の時でした。採卵日前日まで、普段通り働いていましたが、体がだるく、採卵後は下腹部の膨りがなかなか治まらずしんどかったです。

その他（通院・治療費・家族など）

やはり治療費の事はいつも考えていました。共働きですが、私の分の収入は、いつ終わるか分からない治療のために使うものと割り切って働いていました。私は周囲の人達に恵まれており、両方の親からのプレッシャーもありませんでした。勤務先が病院というところもあり、上司や同僚に協力してもらい、夜勤をなくしてもらったり、長期の有休をもらったりできました。

治療中の方へのアドバイス

親からのプレッシャーもあると思いますが、夫婦2人が望むことをゴールに考えてください。2人がどうしたのか、それが1番大切だと思います。長い治療の中で、時々2人の気持ちも正確に伝えることも必要だと思います。（私達も、人工受精までと考えていましたが、ここまでやったらとことんやろうと、途中で、体外受精を決めました。）

スタッフへのご意見など

妊娠が分かってから2度の出血をして、あわてて電話をした時も、丁寧な対応をして下さり、とても感謝しています。辛い治療の時、いつも手を握って励まして下さった事を忘れられません。本当にありがとうございます。